

茶經卷上

唐竟陵陸羽鴻漸撰

一之源

茶者南方之嘉木也一尺二尺迺至數十尺甘
巴山峽川有兩人合抱者伐而掇之其樹如爪

蘆葉如梔子

根如胡桃

瓜蒌

孕兆至瓦礫
苗木上抽

當作茶其字

搽其字出本

茶經

全訳注

nunome chohu

布目潮風

如枿櫚葉如丁香

茶至苦澁枿櫚葉
胡桃與茶根皆下

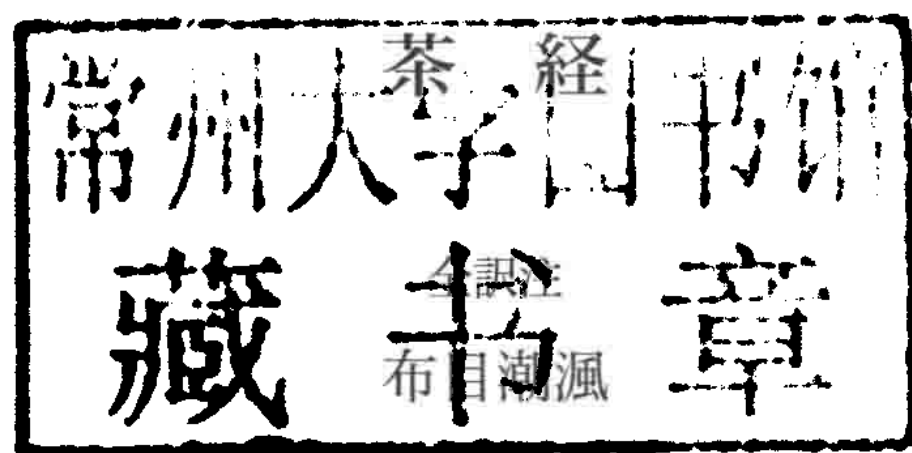
從木或從木并

義從木當作其夕

其字出爾雅



講談
學術文



講談社學術文庫

布目潮颯 (ぬのめ ちょうふう)

1919～2001。ハワイ生まれ。東京帝国大学東洋史学科卒業。文学博士。立命館大学、大阪大学等で教授職を歴任。大阪大学名誉教授。専攻の中国唐代史のほか喫茶文化史にも多大な業績を残す。単著『隋唐史研究』『隋の煬帝と唐の太宗』『中国喫茶文化史』『「貞観政要」の政治学』『中国名茶紀行』、共著『隋唐帝国』『中国の茶書』他、著書多数。



定価はカバーに表示してあります。

ちや きょう
茶 経 全訳注

ぬのめ ちょうふう
布目潮颯

2012年10月10日 第1刷発行

発行者 鈴木 哲

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽 2-12-21 〒112-8001

電話 編集部 (03) 5395-3512

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

装 幀 蟹江征治

印 刷 豊国印刷株式会社

製 本 株式会社国宝社

本文データ制作 講談社デジタル製作部

© Hisa Nunome 2012 Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取替えします。なお、この本についてのお問い合わせは学術図書第一出版部学術文庫宛にお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。㊞日本複製権センター委託出版物

ISBN978-4-06-292135-0

目次

茶經

凡例	6
----	---

茶經卷上

「一之源」	(一、茶の起源)	11
-------	----------	----

「二之具」	(二、製茶器具)	43
-------	----------	----

「三之造」	(三、製茶法)	74
-------	---------	----

茶經卷中

「四之器」	(四、茶器)	90
-------	--------	----

茶經卷下

「五之煮」	(五、茶の煮たて方)	158
「六之飲」	(六、茶の飲み方)	184
「七之事」	(七、茶の史料集)	200
「八之出」	(八、茶の産地)	349
「九之略」	(九、略式の茶)	384
「十之図」	(十の図)	396
参考文献		399
解説		405
索引		459

茶 經

全訳注

布目潮風

講談社学術文庫

目次

茶經

凡例	6
----	---

茶經卷上

「一之源」	(一、茶の起源)	11
-------	----------	----

「二之具」	(二、製茶器具)	43
-------	----------	----

「三之造」	(三、製茶法)	74
-------	---------	----

茶經卷中

「四之器」	(四、茶器)	90
-------	--------	----

茶經卷下

「五之煮」	(五、茶の煮たて方)	158
「六之飲」	(六、茶の飲み方)	184
「七之事」	(七、茶の史料集)	200
「八之出」	(八、茶の産地)	349
「九之略」	(九、略式の茶)	384
「十之図」	(十の図)	396
参考文献		399
解説		405
索引		459

凡例

- 一、本書は『茶経』の「原文」「訳文」「語釈」「校異」と章ごとの「まとめ」とよりなる。
- 一、「原文」は、日本宮内庁書陵部蔵「旧刊百川学海本」（書号七四〇一、函号五五六、一二九）を底本とし、底本の誤りは筆者が校定した。
- 一、「原文」の「〔 〕」内は底本の割注である。「原文」の初めにつけた「一」「二」「三」等の番号は筆者がつけたものである。
- 一、「訳文」は、筆者による日本語訳である。訳文内の「〔 〕」は原文の割注の訳であり、（ ）は筆者が訳文を補った説明である。
- 一、「語釈」「〔1〕」「〔2〕」「〔3〕」等は、筆者の語釈で、本書の重点はここにある。
- 一、「原文」につけた①②③等の番号は「校異」の番号である。
- 一、「校異」は、底本と各種版本の主な異同を挙げ、筆者が底本の誤りを改めた場合は、その理由を示した。
- 一、各章の末尾に、「まとめ」をつけた。
- 一、「原文」と「校異」の異同は旧漢字、「訳文」「語釈」「まとめ」は原則として常用漢字を用いた。

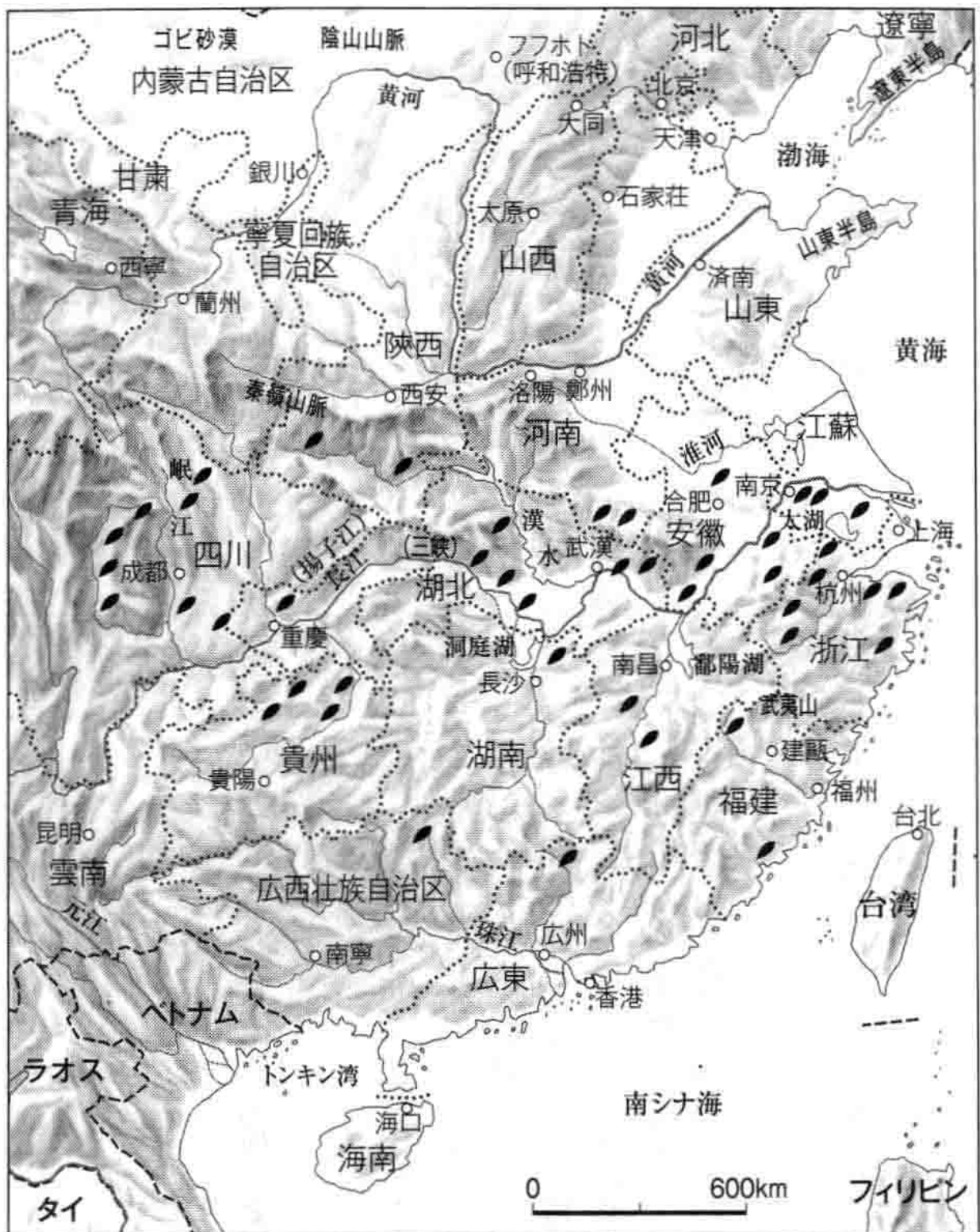
凡例―補

平成十三年一月十七日、本書の著者・布目潮風博士が他界されました。

本書の刊行にあたり、ご遺族の承諾のもとに、著者の凡例に「補」を加えて経緯の報告とします。

一、本書の原稿は、布目博士が平成十二年三月に脱稿され、続いてワープロ打ちゲラにて校正を進めていただき、同年十二月八日に完成原稿として受領した。また平成十三年一月末には解説原稿八十枚をいただく予定であったが、十七日にご他界。しかし、本書のために執筆されていた未完の原稿（四百字詰六枚）があることがわかり、内容構成上の諸条件を検討した結果、博士が亡くなる直前まで校閲を加え、平成十三年三月に刊行された岩波現代文庫『中国喫茶文化史』の中から「陸羽の伝記」と『茶経』のテキスト、ならびに「陸羽の茶道論」に関する箇所を、岩波書店の承諾を得て収載（四〇九〜四三八頁）し、未完の解説原稿の補完とした。

本書の刊行のために、ご厚情を賜わった各位に深甚なる謝意を表します。



『茶経』「八之出」に見える唐代の茶産地 (●茶の産地)

茶
經

『茶經』の校定に
用いた版本 略称表

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------|-------------------------|--------------------|---|--|---------------------------|---------------------------|------------------------------------|---|---------------------------|
| (16) | (15) | (14) | (13) | (12) | (11) | (10) | (9) | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| 宋咸淳刊百川学海本 | 中国茶書全集 | 中国古代茶葉全書本 | 四庫全書本 | 清学津討原本 | 万曆胡文煥百家名書本 | 五朝小説本 | 明鄭燬本 | 明鄭燬本 | 重較說郛本 | 明鈔說郛本 | 茶書全集本 | 万曆汪士賢本 | 嘉靖竟陵本 | 弘治百川学海本 | 底 本 |
| (民国十六(一九二七)年 武進陶氏涉園景刊本 有欠卷以明弘治華氏翻宋本重校摸補) | (布目潮風編『中国茶書全集』上下二卷 汲古書院 一九八七年) | (一九九九年 杭州 浙江摄影出版發行 阮浩耕 沈冬梅 于良子点校注釈) | (文淵閣欽定四庫全書 子部 譜録類 台湾 商務印書館 一九八六年) | (清 張海鵬輯 嘉慶十(一八〇五)年 虞山張氏照曠閣刊本 第十五集所収) | (明 胡文煥編 万曆三十一(一六〇三)年序 百家名書 第三十七冊) | (五朝小説 唐人百家小説 瑣記家所収) | (日本 延宝八(一六八〇)年前 春秋館新校刊) | (明 晋安 鄭燬允榮校 琅嬛齋藏板) | (清 順治三(一六四六)年 兩浙督学 周南・李際期 宛委山堂刊『說郛』弓第九十三所収) | (一九二七年 上海商務印書館 明鈔本により校正排印 元 陶宗儀輯 卷八十三所収) | (明 万曆四十(一六一二)年 諭政刊『茶書』所収) | (明 万曆二十一(一五九三)年序『山居雜志』所収) | (明 嘉靖壬寅(一五四二年)序 竟陵(陸羽の故郷、湖北省天門市)刊) | (宋 左圭輯 民国十年 上海博古齋 無錫華氏 明弘治十四(一五〇一)年序刊本景印) | (宋 左圭輯 旧刊百川学海本 日本宮内庁書陵部蔵) |

茶經卷上

竟陵 陸羽^① 撰^②

一之源 二之具 三之造^③

一之源

【訳文】

茶經 ちやきよう まき 卷の上

一之源 いちの げん(4)

(一、茶の起源)

二之具 にの ぐ

(二、製茶器具)

三之造 さんの ぞう

(三、製茶法)

竟陵 きやうりよう(1) りくう(2) せん(3) の陸羽 撰す

一之源

【語釈】

〔1〕「竟陵」 郡名、県名。唐代では『旧唐書』くとうじよ 卷三九、地理志、山南東道の条に、「復州竟陵郡